

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年 8 月 26 日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	---------------	------	-----------------

※以下は平成 31 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	一般財団法人 ゑしんの里観光公社				
代表者名	理事長 渡邊 信夫				
	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市板倉区米増 27 番地 4				
設立年月日	平成元年 4 月 27 日	基本金	30,000 千円	市出捐割合	85%
設立目的	光ヶ原高原を中心として地域に潜在している観光資源を掘り起こし、それを有効に活用しながら地域の魅力を広く普及する観光事業に努め、潤いと活力ある地域づくりに寄与する。				

3 組織

(単位：人)

		理事・取締役	監事・監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	—	—	0				
	非常勤	10	2	12	1			11
	計	10	2	12	1			11
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	0	0			
	パート職員等	—	—	8	8			
	計	—	—	10	10			

4 主な事業

(1) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘における食堂運営
(2) 光ヶ原高原グリーンパル光原荘の管理業務の受託、信越トレイルの情報発信
(3) そば打ち体験交流施設いたくら亭の経営
(4) ゑしんの里記念館の管理運営業務
(5) 観光情報の発信及び宣伝活動（観光パンフレット及びチラシの作成、報道機関への情報提供）
(6) 各種観光イベントの開催及び参加（十通の手紙特別展の開催等、市内各種イベントへの参加）
(7) 上越観光コンベンション協会等と連携して行う観光客の誘致活動

5 事業実績（概要）

【平成 30 年度の経営状況】

- ・平成 30 年度の経常収益は、前年度と比較して 168 千円減（0.4%の減）の 43,048 千円となりました。このうち、基本財産運用益は、182 千円増（100.6%の増）の 363 千円となり、事業収益では、そば打ち体験交流施設いたくら亭やゑしんの里記念館（ショップ）の売上等が増加したことにより、313 千円増（1.4%の増）の 23,237 千円となっています。
- ・経常費用は、事務局長不在に伴う職員給与の減少などにより、前年度と比較して 3,711 千円減（8.4%の減）の 40,507 千円となりました。
- ・この結果、当期一般正味財産増減額は 2,296 千円となり、平成 30 年度末の正味財産期末残高は 46,161 千円を計上しました。

【平成 30 年度の事業概要】

ゑしんの里記念館

- ・記念館としての役割を維持しつつ、施設環境を生かした収益性のある記念館の運営を行いました。
- ・2020 年 10 月に行う恵信尼 750 回忌の法要に向けて、内外の関係団体と連携し、東西の仏教団体の機関紙等へ情報を掲載するなど周知活動を行いました。

そば打ち体験交流施設いたくら亭

- ・中山間地域の生産者と協力し、板倉そばの知名度向上に向けた取組を促進しました。

光ヶ原高原グリーンパル光原荘

- ・信越トレイル利用者向けのサービス向上を図るため、きめ細やかな活動を実践しました。

【各施設の利用実績】

（単位：人）

施設名	区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比
ゑしんの里記念館	目標	12,500	13,000	13,000	0
	うち 自主事業	500	2,000	2,000	0
	実績	9,622	10,733	11,344	611
	うち 自主事業	2,659	8,650	5,576	△3,074
そば打ち体験交流 施設いたくら亭	目標	15,000	14,000	14,000	0
	実績	13,251	13,928	13,922	△6
光ヶ原高原 グリーンパル光原荘	目標	2,000	2,000	2,000	0
	実績	1,448	1,438	1,225	△213

- ・ゑしんの里記念館の入館者数のうち、自主事業の利用者数については、秋季の展示会が減少したことなどにより、前年度と比較して、3,074 人の減（35.5%の減）となりましたが、これまでに取り組んできた周知活動の効果などもあり、記念館全体の利用者数は、611 人増（5.7%の増）の 11,344 人となりました。
- ・一方、そば打ち体験交流施設いたくら亭の利用者数は、前年度とほぼ同数の 13,922 人となり、光ヶ原高原グリーンパル光原荘の利用者数は、213 人減（14.8%減）の 1,225 人となりました。

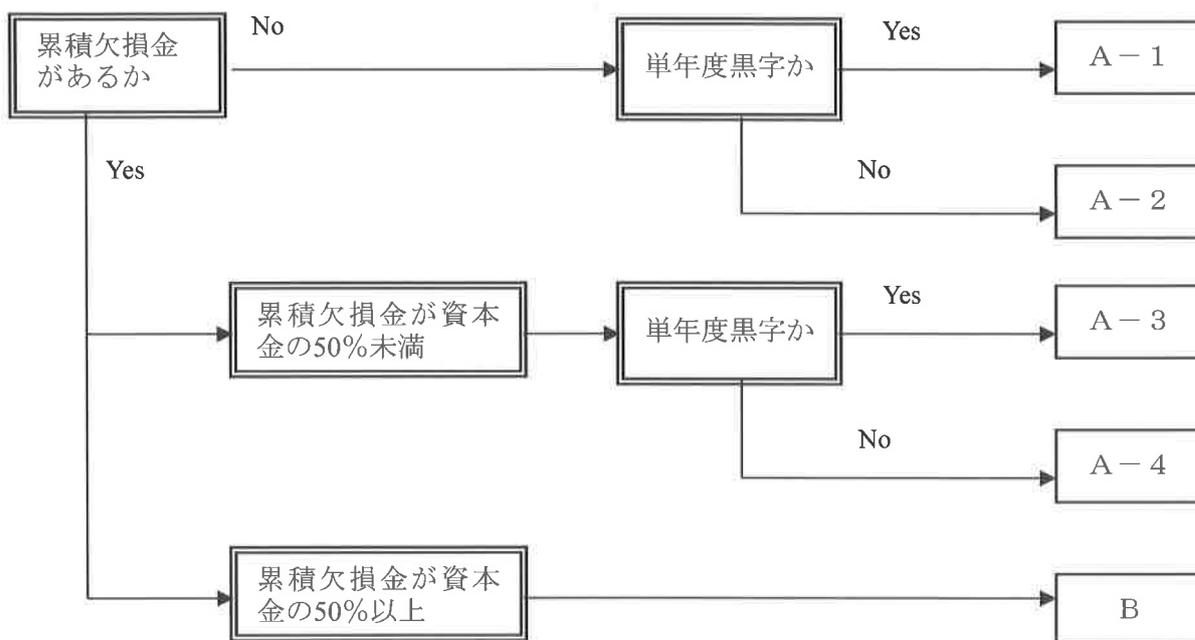
6 財務状況

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
		自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部				
	經常収益	44,076	43,216	43,048	
	基本財産運用益	1,350	181	363	
	積立預金収入	0	0	0	
	受取寄付金	50	60	40	
	事業収益	22,859	22,924	23,237	
	受取補助金等	19,817	20,051	19,408	
	その他經常収益	0	0	0	
	經常費用	43,710	44,218	40,507	
	事業費	40,092	40,574	37,507	
	管理費	3,618	3,644	3,000	
	当期經常増減額	366	△1,002	2,541	
	經常外収益	0	0	0	
	經常外費用	154	137	120	
	当期經常外増減額	△154	△137	△120	
	税引前当期一般正味財産増減額	212	△1,139	2,421	
	法人税等	277	98	125	
	当期一般正味財産増減額	△65	△1,237	2,296	
	一般正味財産期首残高	15,167	15,102	13,865	
	一般正味財産期末残高	15,102	13,865	16,161	
指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	30,000		
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	30,000		
正味財産期末残高	45,102	43,865	46,161		
項目		平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	備考
貸借対照表	資産	58,757	56,129	56,849	
	負債	13,655	12,264	10,688	
	正味財産	45,102	43,865	46,161	
	指定正味財産	30,000	30,000	30,000	
	一般正味財産	15,102	13,865	16,161	

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-1	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。	
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。	
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。	
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。	
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。	

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

経営状況の予備的診断の評価はA-1となりましたが、事務局長が約半年間不在であったことに伴い、給与や福利厚生費等の人件費が大きく削減されたことが主な要因と考えられます。
(人件費：昨年度比▲3,410千円)

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	ゑしんの里記念館 指定管理委託料	16,850	16,990	16,920	
②	グリーンパル光原荘等 管理業務委託料	2,567	2,661	2,088	
③					
④					
⑤					
計		19,417	19,651	19,008	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	補助金（助成金）	400	400	400	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		400	400	400	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

情報発信を幅広く行い、近隣地域とも連携を図った企画を実施するとともに、各施設においては、集客を目指し、次の主な取組を強化します。

- ゑしんの里記念館
 - ・ 宴会、法要など地域住民の利用促進を図り、多目的ホール等を利用し賑わいを創出します。
- そば打ち体験交流施設いたくら亭
 - ・ そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域一番店を目指します。
- 光ヶ原高原グリーンパル光原荘
 - ・ 信越トレイル等利用者向けに特化した活動を促進します。

【令和元年度集客目標】

(単位：人)

ゑしんの里記念館	13,000
そば打ち体験交流施設いたくら亭	14,800
光ヶ原高原グリーンパル光原荘	2,300

(2) 中長期経営計画

なし

平成30年度 一般財団法人 忍しの里観光公社事業報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 事業評価

(1) 管理運営実績

- ① 指定管理事業の「忍しの里記念館の管理運営」については、記念館としての役割を維持しつつ施設環境を生かし、稼ぐ記念館を目指しています。
- ・イベント及び法要・宴会等にご利用いただけるよう働きかけているところです。
 - ・また、2020年10月に行われます、恵信尼750回忌の法要に向けて内外の関係団体と深く連携し合いながら、東西の仏教団体の機関紙に投稿、広告等を掲載し、集客活動の取組みを加速してまいります
 - ・記念館運営管理の人的、質量の不足から、ホームページを活用、地元団体と連携強化を図り、イベント等を通じて板倉の魅力を発信してまいります。
 - ・具体的なイベント実績は、(別紙3 自主事業実施状況書を参照下さい。)
- ② 「そば打ち体験交流施設いたくら亭」については、手打ちそば専門店としての確立を図ります。
- ・お客様のニーズに応えメニューの開発等地域一番店を目指して活動しています。
 - ・板倉区は、中山間地域に於いて、そばの作付面積が広がり、農業生産の一角を占めており、特に光ヶ原高原のそばは、そば花祭りなどのイベントを実施しており認識されつつあります。
 - ・メニュー開発に取り組み、イベント時等では、塩そば(塩を薬味とする)水そば(塩を薬味に、たれの代わりに延命水で食す)、十割そば等の発売。
具体的なイベント実績は、(別紙3 自主事業実施状況書を参照下さい。)
 - ・そば打ち体験は、食品衛生上からいたくら亭では難しく、記念館多目的ホールを借りて、実施しています。自身で打ったそばを食され、喜んで頂きました。
- ③ 「光ヶ原高原の受託事業」の運営に当たっては、アクセス、通信網の不備な点を考慮し、信越トレイル等マニア層向けに特化した方向で活動しました。
- ・年々信越トレイルのお客様が増え、グリーンパル光原荘への立ち寄りも増え、今後期待です。しかしながらハイカーは、お金を落とすとしてくれず厳しく感じています。
 - ・グリーンパル光原荘での「流しソーメン営業」は、昨年大雨による道路の破損が有りその修繕工事が7月27日まで掛かり、営業は、8月4日からとなりました。したがって、営業日が短縮され、その上雨の日が多く、売り上げが伸びず苦慮しています。
 - ・今後は、各種団体と連携し、夏祭り等イベントの企画、食事メニューの開発による活性化に努力します。

④ 収支と全体評価

収支面で前年と比較

売上高	43,048 千円(△168 千円)
販売管理費	
人件費	20,690 千円(△ 3,410 千円)
その他経費	12,897 千円(△ 403 千円)
経費合計	33,587 千円(△ 3,814 千円)
経常利益	2,421 千円(3,561 千円)

*別紙1 「収支状況書」をご確認ください。

評価

- ・ ゑしんの里記念館は、前半は京都西本願寺に於いて、恵信尼750遠忌(4月13・14日)が実施され、その影響か団体参拝客が多かったが、後半の伸びがなかった半面、多目的ホールのイベント来場者が多く前年より611人(累計11,344人)の増。
売上面では、宴会、法要等が伸び悩み、全体では、210千円の増となりました。団体客の記念館への立ち時間が短く、苦慮しています。
- ・ いたくら亭においては、入込が昨年△6人(累計13,922人)であったが、売上では、新メニュー開発等により、平均単価のアップ、イベント等の入込増で293千円増と売上を確保できました。
- ・ 光ヶ原高原のレストラン営業と管理業務については、昨年大雨による県道の損傷工事のため、営業が8月からとなり、売上、委託業務収入△573千円の減少、食堂売り上げも対前年△406千円減少でした。
2年目の「光ヶ原夏まつり」(夏まつり実行委員会主催) 県道改修期成同盟会を中心に実施され、賑わいを創出するイベント企画で盛り上げました。当公社も事務局として参画したことは観光振興という面でも大変意義があったと感じます。
- ・ 経費は、人件費を含め削減に取り組みました。但し人件費の昨年対比の大きな減は、事務局長退職による6ヶ月の不在分と委託事業の短縮分です。

「現況組織等」

- i 基本財産 30,000,000 円
- ii 評議員 6名 平井達夫、古海正雄、樋口隆史、高橋恵美、野口一幸、保坂勝士
- iii 理事 10名 理事長：渡邊信夫、理事：細井良一、鈴木孝雄
小林正男、田中睦夫、山本正男、古海誠一、中嶋隆一
古澤公男、宮下利雄
- iv 監事 2名 宮本武夫、市村公誠
- v 公社職員 正職員2名、パート職員7名(そば打ち、季節パートは除く)
- vi 指定管理委託料 16,920 千円(ゑしんの里記念館)
- vii 事業受託料 2,088 千円(光ヶ原高原)

「理事会・評議員会、監査会等」

i 監査会 (H30.5.10)

ii 第 80 回理事会 (H30.5.18)

【内容】・平成 29 年度事業報告及び収支決算書承認に関する件
・その他

第 81 回理事会 (H30.11.22)

【内容】・平成 30 年度上半期事業、収支実績の報告
・平成 31 年度 役員体制に関する件
・その他

第 82 回理事会 (H31.3.20)

【内容】・平成 31 年度事業計画、収支計画の決定に関する件
・平成 31 年度 役員体制に関する件
・その他

iii 第 68 回評議員会 (H30.5.18)

【内容】・平成 29 年度事業報告及び収支決算書承認に関する件
・任期満了に伴う役員(理事、監事)の選任について

第 69 回評議員会 (H31.3.25)

【内容】・平成 31 年度事業計画、収支計画の決定に関する件
・任期満了に伴う理事の選任について

vi 月次経営状況報告会(社内)

【内容】経営状況の確認と対応 (経営ブレイン)

平成 30 年 4 月 27 日、5 月 26 日、6 月 21 日、7 月 30 日、8 月 22 日
10 月 24 日、12 月 21 日、2 月 20 日、3 月 19 日

(2) サービス向上

- ・お客様を主役とした接客や電話対応での言葉使い、態度について従業員への教育を実施しています。
- ・館内外の修繕・清掃に気づかい清潔感ある施設を心がけています。
- ・苦情につきましては、すぐに対処できるものは迅速に対応し、大きな改善が必要な事案は、市へ報告協議しています。いずれにしましてもお客様へのご迷惑を最小限に考えています。

(3) 経費の削減

- ・問題点を早期に見つけ出し、経費支出を最小限に抑えることに努めています。
- ・お客様目線で職員のコスト意識を高め、無駄の排除に取り組んでいます。

(4) 危機管理体制

- ・緊急連絡体制による連絡の統一。
- ・防火管理組織による初期消火、避難誘導、救護体制を確認のため火災訓練を実施。

(5) 衛生管理

- ・食品衛生責任者のもと、手洗いや食材管理の徹底に努めています。
- ・従業員の検査等でも異常は認められておりません。
- ・保健所や食品衛生協会の巡回も適切に対応しております。

(6) 盗難防止体制

- ・盗難防止、設備保安のため、民間警備会社(新潟総合警備保障)に委託しています。
- ・日々の売上金は、銀行に預け入れ、釣銭等小額の現金は金庫に保管しています。

(7) 運営活動

- ・収益向上に向けて宴会、法要のご利用を増やすためにイベント等を利用して当記念館のPRを実施しています。
- ・記念館、いたくら亭、グリーンパルレストランいづれも食品衛生管理には注意を払っており、接客対応も職員には指導教育を実施しています。

(8) 利用者の状況

① ぬしんの里記念館

- ・年間計画/11,000人に対し、利用人数は11,344人で辛うじて達成しました。
- ・ツアー客の立ち寄り時間が短く、売上に至らぬケースが増えています。

② いたくら亭

- ・年間計画/14,000人に対し、利用人数は13,922人で、△78人の未達成でした。
- ・新企画としまして毎月特別メニューの提供と月一回十割そばの提供を実施しました。

③ 光ヶ原高原(レストラン)

- ・年間計画/2,000人に対し、上期の利用人数は1,225人で、△775人の未達成です。
- ・昨年の大雨による県道崩落修繕工事が、7月末までかかり、8月からの営業となったため大きく減少しました。

*別紙2 「入込等の状況」をご確認ください。

(9) その他

- ・イベント状況 *別紙3 「自主事業実施状況書」をご確認ください。
- ・公社施設の修繕箇所 *別紙4 「修繕の実施状況書」をご確認ください。
- ・苦情処理等 *別紙5 「苦情処理等の状況書」をご確認ください。

平成30年度 一般財団法人 糸しの里観光公社収支状況書

(期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位:円

	項目	当初計画	実施状況	差引	説明
収入	基本財産運用益	330,000	363,000	33,000	基本財産運用益
	指定管理収入	16,920,000	16,920,000	0	指定管理料・補助金
	委託事業収入	2,600,000	2,088,504	-511,496	
	市補助金収入	400,000	400,000	0	
	記念館収入	6,000,000	5,497,686	-502,314	レストラン・宴会
	いたくら亭収入	15,100,000	15,098,533	-1,467	
	光ヶ原・特産物販売収入	2,500,000	2,097,490	-402,510	
	その他収入	750,000	583,235	-166,765	・雑収入
	売上高計	44,600,000	43,048,448	-1,551,552	
売上原価	期首棚卸高	3,337,114	3,337,114	0	
	商品仕入れ高	7,500,000	6,822,217	-677,783	
	期末棚卸高	3,337,114	3,239,011	-98,103	
	売上原価	7,500,000	6,920,320	-579,680	
売上	総利益(粗利)	37,100,000	36,128,128	-971,872	
人件費	正規職員	7,200,000	5,542,029	-1,657,971	職員給与(社会保険料含)
	賞与	750,000	501,600	-248,400	
	臨時職員	13,100,000	13,254,900	154,900	臨時職員(社会保険料含)
	法定福利費	1,500,000	1,033,866	-466,134	
	福利厚生費	770,000	357,603	-412,397	
	人件費計	23,320,000	20,689,998	-2,630,002	
その他販売管理費	旅費交通費	10,000	0	-10,000	
	通信運搬費	400,000	415,146	15,146	電話、インターネット、郵送料
	広告宣伝費	520,000	414,909	-105,091	掲載料、チラシ、パンフ作成折込
	消耗品費	900,000	1,097,526	197,526	厨房、事務用品
	賃借料	390,000	373,969	-16,031	リース料
	保険料	180,000	165,640	-14,360	保険掛金
	自動車費	330,000	387,522	57,522	車検、定期点検、燃料、修繕
	修繕費	340,000	101,024	-238,976	施設小修繕
	委託費	2,550,000	2,177,131	-372,869	施設管理委託料、会計等
	イベント費	400,000	366,244	-33,756	
	租税公課	1,400,000	1,362,300	-37,700	消費、印紙税等
	減価償却費	110,000	121,109	11,109	
	電気代	3,870,000	4,018,629	148,629	電気
	上下水道	680,000	603,470	-76,530	水道
	ガス代	970,000	912,946	-57,054	ガス
	燃料代	110,000	63,957	-46,043	
	雑費	400,000	315,280	-84,720	
	その他軽費計	13,560,000	12,896,802	-663,198	
販売・一般管理費計	36,880,000	33,586,800	-3,293,200		
営業外費用	150,000	119,947	-30,053	いたくら亭土地購入利息	
経常利益	70,000	2,421,381	2,351,381		
法人税・住民税・事業税	70,000	125,597	55,597	法人税、事業所税等	
純損益	0	2,295,784	2,295,784		

平成30年度 一般財団法人 糸しんの里観光公社 各部門利用状況書

指定管理者: 一般財団法人 糸しんの里観光公社

単位: 人、円、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	差異
入館者合計		818	842	1,475	1,659	752	1,254	1,272	1,604	470	262	307	629	11,344	10,733	611
	小学生以下	34	175	34	80	54	51	24	91	20	3	15	44	625	431	194
	中学生以上	784	667	1,389	1,579	679	1,183	1,248	1,513	450	259	292	563	10,606	9912	694
	17:00以降	0	0	52	0	19	20	0	0	0	0	0	22	113	390	-277
(内) 多目的ホール計		43	0	433	625	0	502	71	113	21	6	65	133	2,012	979	1,033
	件数	1	0	2	2	0	2	2	3	2	1	2	4	21	15	6
	人数	43	0	433	625	0	441	71	113	21	6	65	133	1,951	878	1,073
(減免分)	件数						1							1	4	-3
	人数						61							61	101	-40
(内) 和室計		170	104	292	316	83	248	101	236	128	35	58	114	1,885	1,902	-17
	件数	18	13	16	7	8	11	9	13	8	3	7	12	125	114	11
	人数	170	104	292	316	83	247	101	236	128	35	58	114	1,884	1,779	105
(減免分)	件数						1							1	4	-3
	人数						1							1	123	-122

平成30年度 いたくら亭入込状況

単位: 人、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	差異
いたくら亭 合計		1,186	1,419	1,072	1,257	1,649	1,105	1,313	1,671	911	652	767	920	13,922	13,928	-6
食堂		1,186	1,417	1,064	1,257	1,649	1,105	1,313	1,664	903	646	767	897	13,868	13,851	17
そば打ち体験	件数		1	2	0				2	2	1		4	12	13	-1
	人数	0	2	8	0	0	0	0	7	8	6	0	23	54	77	-23

平成30年度 光ヶ原レストラン入込状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	差異
光ヶ原高原	レストラン	0	0	0	0	975	164	86	0	0	0	0	0	1,225	1438	-213

平成30年度 一般財団法人 糸しの里観光公社 自主事業実施状況書

(期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日)

指定管理者		一般財団法人糸しの里観光公社		(単位:人)		
月 日	自主事業名	目 的	場 所	入館・来店人数	備 考	
4月30日～ 5月20日	えちごえっさ上越 「土屋 始彦 スケッチ展」3	○ 観光事業の振興と文化交流の場の提供 ・上越周辺の身近な風景や人物のスケッチを展示 第2弾として高田・直江津地区を中心に展示	市民 ギャラリー	期間中 649人	期間中 ・食堂売上 56千円 ・売店売上 71千円	
5月12日～ 5月13日	山菜そばまつり	○ 板倉そばのPRといたくら亭売上増進 ・採りたての山菜天ぷらを中心に味を賞味。	いたくら亭	193人	期間中 ・食堂売上 263千円	
5月25日～ 6月10日	佐藤栄治 「春の和歌作品展」	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・和歌を愛で、梅雨のひと時を健やかに	市民 ギャラリー	期間中 658人	期間中 ・食堂売上 90千円 ・売店売上 165千円	
6月8日～ 6月17日	喜寿の活躍 大口昭治絵画展	○ 文化交流の場の提供と絵画による板倉観光振興 ・板倉で活躍の画家(絵画教室主催等)の喜寿活躍を発表 (板倉区歴史資料絵画含む)	多目的 ホール	383人	期間中 ・食堂売上 97千円 ・売店売上 49千円	
7月8日	【協賛事業】 糸しの里 茶会	○ 文化交流の場の提供 (フカミ美術)との共催イベント。 ・薄茶席 裏千家 ・薄茶席(立礼)江戸千家の茶会	全館	230人	・点心売上 206千円	
7月5日～ 7月25日	平田 将 イラスト展	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・和歌を愛で、梅雨のひと時を健やかに	市民 ギャラリー	期間中 1,371人	期間中 ・食堂売上 129千円 ・売店売上 204千円	
7月13日～ 7月16日	墨絵・仏画・写真 三人コラボ展	○ 地域活性化と交流の場の提供 (笹川春舂、高垣康平、坂口久司)上越市で活躍されている 方の作品(仏画、墨絵、写真)を紹介して地域の活性化と魅力 を発信	多目的 ホール	325人	期間中 ・食堂売上 57千円 ・売店売上 32千円	
7月21日～ 7月22日	寒晒しそばまつり	○ 板倉そばのPRといたくら亭売上増進 ・冬の寒期に冷水で晒した蕎麦の実を暑い夏の季節に提供 雑味がなくすっきりとした味を賞味。	いたくら亭	155人	期間中 ・食堂売上 168千円	
7月28日	【協賛事業】 板倉区婚活イベント	○ 地域活性化と交流の場の提供 光ヶ原高原にぎわい創出実行委員会との共催イベント ・14:30記念館アトラクション ・17:40光ヶ原高原夕日と星空の下で交流会	多目的 ホール	40人	・そば他 54千円	

月 日	自主事業名	目 的	場 所	入館・来店人数	備 考
8月6日～ 8月31日	2017-2018 「光ヶ原 Cat Tour展」	○ 観光事業の振興と光ヶ原のPR ・写真パネルの展示による光ヶ原高原の冬期スポーツと雄大な自然を紹介	市民ギャラリー	期間中 638人	期間中 ・食堂売上 89千円 ・売店売上 104千円
8月10日～ 8月29日	蓮の華写真展【蓮華】	○ 文化交流の場の提供 小林喜一氏を中心とした写真展 ・高田城址公園・蓮の花写真展	市民ギャラリー	期間中 520人	期間中 ・食堂売上 75千円 ・売店売上 90千円
8月11日～ 8月12日	【協賛事業】(事務局) 光ヶ原光原 夏まつり	○ 地域活性化と光ヶ原元原PR (光ヶ原夏まつり実行委員会)との協賛イベント ・吹奏楽、ジャズバンド、ドローンのデモ飛行、カイト連凧揚げのアトラクション。屋台村多数出店でにぎわい創出	光ヶ原高原センター	期間中 173人	期間中の ・食堂売上 114千円
9月1日～ 9月17日	【協賛事業】 有恒高校創設者:増村朴斎 生誕150年記念 遺墨展	○ 文化交流の場の提供 ・有恒高校創設者:増村朴斎生誕150年記念 ・朴斎先生遺墨展 & 恩師、友人の遺墨展示	多目的ホール	380人	期間中 ・食堂売上 56千円 ・売店売上 91千円
9月16日	光ヶ原高原 お花見そば祭り	○ 板倉そばと光ヶ原高原霧下そばのPR ・光ヶ原高原に植栽のそば畑(8ヘクタール)のそばの花を見学の後、光原荘レストランでそばを賞味	光ヶ原高原光原荘レストラン	73人	・そば他 61千円
4/28・5/26 6/23・8/25 9/22	十割そば提供	○ そばの味PR と いたくら亭の売上増 ・そば粉のみの手打ちそばを提供。	いたくら亭	期間中 267人	期間中 ・食堂売上 298千円
10月19日	親鸞・恵信尼ゆかりの地を 巡る旅	○ 五智歴史の里会館、高田寺町ボランティア、当公社の3地区による合同企画 ・3地区で共通性のある 親鸞・恵信尼ゆかりの地を巡る旅と題して誘客を狙いバスツアーを実施しました。	-	36人	・食堂売上 40千円 ・売店売上 5千円
11月3、4日	新そばまつり	○ いたくら亭イベント企画 ・今年、光が原で生産した霧下そばの香りと味に堪能して頂きました。	いたくら亭	170人	・食堂売上 270千
11月14日～ 21日	水彩画展示	○ 文化交流の場の提供と記念館PR ・板倉みづえの会が中心となり、水彩画の展示し多くの来客者の方楽しんで頂きました。	ホール	363人	期間中 ・食堂売上 31千円 ・売店売上 23千円
12月13日	討ち入り蕎麦まつり	○ いたくら亭夏のイベント企画 ・赤穂浪士の討入にちなんで1日限定で通常二八そばを上越産そば粉使用による十割そばを価格据え置きで提供	いたくら亭	86人	・食堂売上 75千円

月 日	自主事業名	目 的	場 所	入館・来店人数	備 考
12月23日	門松作り教室	○ 地域活性化と交流の場の提供 ・自身で門松を作成して清々しい新年を迎える準備と交流を深めました。	ホール	20人	・材料代 40千円
12月31日	年越しそば	○ 年末恒例の年越しそばの販売 ・12月1日より予約頂いた方に手打ちの年越しそばを販売	いたくら亭	250食	・食堂売上 145千円
2月23、24日	寒晒しそばまつり	○ いたくら亭のイベント企画 ・一番寒い「寒」の時期にさらし甘味のましたそして香り高いそばに舌堤を打って頂きました	いたくら亭	170人	・食堂売上 198千円
10月、11月、 1月、3月の 第4土曜日	十割そばの提供	○ いたくら亭のイベント企画 ・毎月のイベントとして毎月第4土曜日限定でそば好きにはたまらない十割そばを提供	いたくら亭	255人	・食堂売上 275千円
3月24日	文化講演会 筑波大学名誉教授 今井正晴氏	○ 恵信尼についての知識向上 ・750回 遠忌法要を2020年に迎えるに当たり「越後国の恵信尼」-51歳～-87歳まで-と題して今井先生の講演会、知識向上に繋げて頂きました。	ホール	63人	・資料収入 63千円 ・弁当売上 12千円

平成 30 年 度 財 務 諸 表

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月 31日

新潟県上越市板倉区米増27番地4

一般財団法人 糸しんの里観光公社

理事長 渡邊 信夫

貸借対照表

平成31年 3月31日現在

一般財団法人 糸しんの里観光公社

単位：円

資 産 の 部	借 方			負 債 の 部	貸 方		
	当 年 度	前 年 度	増 減 額		当 年 度	前 年 度	増 減 額
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金及び預金	8,047,952	6,848,909	1,199,043	買掛金	379,189	475,844	△ 96,655
売掛金	1,200	169,150	△ 167,950	未払金	584,832	580,456	4,377
未収金	430,326	513,924	△ 83,598	預り金	50,044	15,900	34,144
立替金	0	8,231	△ 8,231	未払法人税等	70,000	70,000	0
商 品	2,309,968	2,392,560	△ 82,592	未払消費税等	663,900	691,600	△ 27,600
原 材 料	929,043	944,554	△ 15,511				
流動資産合計	11,718,489	10,877,328	841,161	流動負債合計	1,747,965	1,833,699	△ 85,734
2. 固定資産				2. 固定負債			
有形固定資産				長期未払金	8,940,000	10,430,000	△ 1,490,000
建 物	6	121,115	△ 121,109	固定負債合計	8,940,000	10,430,000	△ 1,490,000
什 器 備 品	150,008	160,010	△ 2	負債合計	10,687,965	12,263,699	△ 1,575,734
建 設 仮 勘 定	14,920,000	14,920,000	0				
基本財産				正味財産の部			
基 本 財 産	30,000,000	30,000,000	0	正味財産	46,161,333	43,865,549	2,295,784
その他の資産				(うち基本金)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
電 話 加 入 権	60,795	60,795	0	(当期指定正味財産増加額)	(0)	(0)	(0)
固定資産合計	45,130,809	45,251,920	△ 121,111	(当期一般正味財産増加額)	(2,295,784)	(△ 1,237,005)	(3,532,789)
資 産 合 計	56,849,298	56,129,248	720,050	負債・正味財産合計	56,849,298	56,129,248	720,050

脚注：有形固定資産減価償却累計額

2,652,652円

正味財産増減計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

一般財団法人 桑しの里観光公社

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益収入	363,000	180,750	182,250
② 積立預金収入			
預金利息収入	88	255	△ 167
③ 受取寄付金			
記念館来館時寄付収入	40,000	60,000	△ 20,000
④ 受取補助金等			
記念館指定管理委託収入	16,920,000	16,990,000	△ 70,000
観光公社補助金等収入	400,000	400,000	0
光ヶ原高原管理委託等収入	2,088,504	2,661,152	△ 572,648
⑤ 事業収益			
いたくら亭収益	15,094,053	14,832,084	261,969
記念館収益	5,186,129	5,170,675	15,454
光ヶ原高原収益	1,047,250	1,453,090	△ 405,840
冊子等販売収益	1,050,240	799,010	251,230
イベント事業収益	254,970	177,860	77,110
その他収益(雑収益)	604,214	491,314	112,900
経常収益計	43,048,448	43,216,190	△ 167,742
(2) 経常費用			
① 管理費			
職員給与	1,108,400	1,516,700	△ 408,300
賞与	100,320	194,700	△ 94,380
法定福利費	206,700	290,200	△ 83,500
福利厚生費	212,320	259,600	△ 47,280
租税公課	1,350,600	1,373,500	△ 22,900
寄付金	22,000	9,000	13,000
② 事業費			
仕入原価	6,920,320	6,817,572	102,748
職員給与	4,433,629	6,067,267	△ 1,633,638
賞与	401,280	778,900	△ 377,620
臨時職員給与	13,254,900	13,327,317	△ 72,417
法定福利費	827,166	1,161,010	△ 333,844
福利厚生費	145,283	504,876	△ 359,593
通信運搬費	415,146	324,698	90,448
消耗品費	1,097,526	930,110	167,416
広告宣伝費	414,900	428,361	△ 13,462
租税公課	11,700	19,700	△ 8,000
保険料	165,640	169,190	△ 3,550
委託費	2,177,131	2,518,049	△ 340,918
イベント費	366,244	400,007	△ 33,763
賃借料	373,969	380,994	△ 7,025
自動車費	387,522	524,468	△ 136,946
販売促進費	0	13,093	△ 13,093
修繕費	101,024	261,077	△ 160,053
水道光熱費	5,599,002	5,532,983	66,019
減価償却費	121,109	121,109	0
雑費	293,280	293,918	△ 638
経常費用計	40,507,120	44,218,399	△ 3,711,279
当期経常増減額	2,541,328	△ 1,002,209	3,543,537
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
支払利息	119,945	137,080	△ 17,135
固定資産除却損	2	0	2
経常外損益計	△ 119,947	△ 137,080	17,133
税引前当期一般正味財産増減額	2,421,381	△ 1,139,289	3,560,670
法人税・住民税・事業税等	125,597	97,716	27,881
当期一般正味財産増減額	2,295,784	△ 1,237,005	3,532,789
一般正味財産期首残高	13,865,549	15,102,554	△ 1,237,005
一般正味財産期末残高	16,161,333	13,865,549	2,295,784
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	46,161,333	43,865,549	2,295,784

財 産 目 録

平成31年 3月31日

一般財団法人 志しの里観光公社

単位：円

科 目	金 額	備 考
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金 手許有高	604,092	
普通預金 ゆうちょ銀行		財団一般会計
口座番号 11200-11416951	1,000	
第四銀行/板倉支店		財団一般会計
口座番号 1041662	692,729	
第四銀行/板倉支店		いたくら亭
口座番号 1094452	2,001,582	
第四銀行/板倉支店		記念館
口座番号 1099926	2,487,926	
第四銀行/板倉支店		その他
口座番号 1099919	2,175,769	
新井信用金庫/板倉支店		
口座番号 0054341	84,852	
えちご上越農業協同組合/板倉支店		
口座番号 0057645	2	
	7,443,860	
商 品 別紙棚卸表参照	2,309,968	
原 材 料 別紙棚卸表参照	929,043	
売 掛 金 別紙科目明細表参照	1,200	
未 収 入 金 別紙科目明細表参照	430,326	
流動資産 合計		11,718,489
2. 固定資産		
有形固定資産		
建 物 別紙明細表参照	6	
什 器 備 品 別紙明細表参照	150,008	
建 設 仮 勘 定	14,920,000	
	15,070,014	
その他の固定資産		
基 本 財 産 第四証券(株) CSI日経平均連動債	30,000,000	
電 話 加 入 権 0255-81-4720	60,795	
固定資産 合計		45,130,809
資 産 合 計		56,849,298
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買 掛 金 別紙科目明細表参照	379,189	
未 払 金 別紙科目明細表参照	584,832	
預 り 金 別紙科目明細表参照	50,044	
未 払 法 人 税 等 確定法人県市民税等	70,000	
未 払 消 費 税 等 確定消費税及び地方消費税額	663,900	
流動負債 合計		1,747,965
2. 固定負債		
長 期 未 払 金 別紙科目明細表参照	8,940,000	
固定負債 合計		8,940,000
負 債 合 計		10,687,965
正 味 財 産		46,161,333

平成31年度

一般財団法人 急しんの里観光公社
事業計画書及び収支予算書

一般財団法人 急しんの里観光公社

I 事業計画書

1 全般的な管理運営について

(1) 設置目的に対する管理・運営

【観光公社】

設置目的である観光事業において、情報発信を幅広く積極的に行い、地元はもとより他地域との連携を強化し、板倉の各観光施設の認知度アップを図り、各施設の集客増を目指します。

*板倉観光施設の認知度アップのため、管理する各施設を中心とした周辺観光パンフレットを作成し、集客増を図る。

*各事業においては収支バランスの取れる活動強化を図る。

*効率的な運営を心掛けるとともに、環境負荷の低減と各施設の保全に努め、メリハリのある運営費の支出に努める。

*条例や法令等に基づき、円滑な運営及び適切な維持管理に努める。

*利用者の平等利用の確保に努め利用者に対して不当な差別的扱いは行わない。

【ゑしんの里記念館】

*地域の賑わい創出のための自主事業及び各種団体と連携した事業を実施する。

*市民の各種団体の発表の場として、宴会、法要等地域住民の利用促進を図り、多目的ホール、和室等を利用し賑わいを創出する。

*現在設置されている展示資料について、より解りやすく紹介し、情報を全国に発信することで、遠来の来館者の満足度の充実を図る。

*地元の特産品の販売等を通じ、農業などを含めた総合的な地域の情報発信に努める。

*自然・風光明媚なゑしんの里記念館の諸設備維持に細心の注意を払い、来館者に安らぎを感じさせる施設となるよう取り組む。

*2020年10月の恵信尼750回忌に向け、情報発信に努め、来館者の増加を図る。

*条例や法令に基づき、利用者の平等利用の確保に努め不当な差別を行わない。

【そば処 いたくら亭】

*いたくら亭にあっては、そば打ち体験施設を維持しつつ、そば専門店として地域観光の食の一角を担い、地域一番店を目指す。

*中山間地域のそば生産者との協力体制の下に、地域特産品としての板倉そばの確立を図る。

【光ヶ原受託事業】

*光ヶ原高原の受託事業の運営に当たっては、アクセス、通信網の不備な点を考慮し、信越トレイル等マニア層向けに特化した方向で活動する。

*上越飯山線県道改良促進のため関係団体と連携した光ヶ原高原活用の具現化取組を推進する。

(2) サービス面の向上について

満足度の高い情報をより早くしかも正確に提供することがサービスの基本として捉え、職員への徹底を期すため実践教育・外部講習等で体得し真のサービスができるよう取り組む。

- *行き届いたおもてなしができるよう職員向け講習会等の実施。
- *行き届いた説明ができるよう知識の習得に努める。
- *施設設備の安全運転と保守管理を励行し、来館者へ不快・不安な感じを抱かせないように努める。
- *職員各自が危機管理意識を持ち、不測の事態に対し遅滞なく対応できるよう行動体得に努める。
- *アンケート（お客様の声）の回収精度を高め、サービス向上の糧とする。

(3) 経費の縮減について

過剰サービスあるいは無駄なサービスは、来館者に不快感を与えかね何らかの損失が発生すると考えられる。職員一人一人が原価意識と正しい経費の使い方の知識を体得し、その意識をもって業務遂行することにより経費節減に取り組む。

- *計画（予算）精度を高め、無駄な経費の支出を未然に防ぐ。
- *問題点を早期に見つけ出し、経費の支出を最小限に抑える。
- *委託業務について、見積り精度を高め最適価格となるよう努める。
- *業務の改善により作業性を高める。
- *節水、節電に努める。

(4) 施設の利用促進について

板倉観光施設の認知度アップのため、管理する各施設を中心とした周辺観光パンフレットを作成し、集客増を図ります。

HPを活用し、観光情報の発信により、あしんの里記念館や光ヶ原、信越トレイル等への集客を図ります。

2020年10月に予定されている恵信尼750回忌の賑わいを目指し、地域観光資源及び施設情報を、旅行関係業者を中心に発信します。

市民のコミュニティ活動の場として、施設情報を発信し、記念館の更なる知名度アップを図り、芸術展、講演会、講習会、音楽祭、映画鑑賞等の開催促進。

- *宴会・法要受注活動、ショップ商品の開発と見直しによる売り上げの増進。
- *レストランメニューの見直しと開発
- *バス観光業者に対し、施設を「昼食会場」として活用いただけるよう営業を推進する。
- *2020年に予定の、恵信尼750回忌に向けた集客取組の促進

(5) 目標とする施設利用者数

- ① 記念館 一般入館者 11,000 人・自主事業の参加者・入館者数 2,000 人
- ② いたくら亭 14,800 人
- ③ 光ヶ原高原レストラン 2,300 人

2 管理運営について

(1) 従業員の配置等 (シフト制を採用)

① 正規従業員の配置について

- * 事務局長 1 人 総括管理、営業、記念館施設設備管理
- * 事業担当 1 人 宴会調理、施設設備管理、情報発信、除雪

② パート従業員の配置について

- * 事務職員 1 人 経理、労務、受付
- * 受付担当 1 人 受付、接客、売店販売
- * 調理担当 5 人 調理、接客、宴会

③ 季節等従業員の配置について

- * 光ヶ原レストラン 4 人 夏季: 調理、接客、
- * 光ヶ原グリーンパル高原荘 4 人

④ 屋外整備 4 人 環境整備 (樹木管理-囲い・草刈・庭園管理)

(2) 管理方法について

① 施設の管理について

- * 施設は、公社職員が責任を持って管理する。
- * 施設を管理する業務において、次の管理者を置く。(別紙 2 のとおり)
 - ・ 防火管理者
 - ・ 食品衛生管理者
 - ・ 酒類販売管理者

② 委託業務について

- * 業務の内容で、公社に資格を有する者がいない下記業務について資格を有する事業者へ委託する。(別紙 3 のとおり)
 - ・ 消防設備点検
 - ・ 清掃業務
 - ・ 警備業務
 - ・ 空調設備保守点検
 - ・ 自動ドア保守点検
 - ・ 電気設備保安管理業務
 - ・ ごみ処理業務
 - ・ HP 維持管理業務
 - ・ 経理会計業務
 - ・ 池ろ過装置点検業務

③ 委託業務の管理

- * 保守点検時に立ち会い知識の習得に努める。
- * 日常業務においての注意点、留意点を点検時に相方で確認し合い、委託業務先との信頼関係を築く。
- * 業務完了報告に基づく改善点等は、市と協議し、設備の故障など事前に防ぐようにする。

(3) 安全対策について

① 安全対策

基本は、危機管理マニュアルに基づく管理。

* 定期的な施設の巡回により事故等の未然防止。

* 製造物責任法及びハートビル等の法律についての知識の習得。

(一般の施設利用者にはなかなか認知されておらず、利用者がスリップなどで事故を起こしてもそれは自己責任として片づけられていることが多いと思われます。

しかし企業や施設の管理責任が非常に重要になってきている今日、こういった法律は決して無視できないものと思います。これらの施設管理をきちんと対処して行くことが、我々施設管理者のあり方と考えます。)

② 安全点検

* 消防設備点検	年 2 回 (2 月・9 月)
* 連動制御設備 (防火シャッター・防火扉)	年 2 回 (2 月・9 月)
* 自動ドア保守点検	年 2 回 (2 月・9 月)
* 電気設備点検	年 6 回 (偶数月)
* 空調設備点検	年 6 回 (偶数月)
* 厨房内の清掃による衛生管理	随時

③ 個人情報

* 全職員に個人情報保護法と上越市個人情報保護条例を順守するよう徹底を図る。

* 個人情報は、厳正な管理の下で保管(所定の書庫に保管管理)し紛失、破棄、改ざん、漏えい等の防止に努める。

* お客様の承認を得ずに第三者に開示・提供しない。

* 取扱いについては、適宜改善に努める。

* 定期的に PC に保存されている個人情報データを確認する。

* PC 自体にアクセスされないように措置を施す。

* 職員として知り得た情報は、シュレッダー等で、廃棄するなど守秘義務の徹底を図る。

④ 関係法令の遵守

* 保守点検時に立ち会い知識の習得に努める。

* 研修会を実施し、関係法令の遵守について理解を深める。

(4) 利用時間及び休館日について

① 利用時間

* 仕様書に規定する時間とする。

* 但し、利用者の要望等により利用時間を延長する必要があるときは、要望に応える。

② 休館日

* 仕様書に規定する休館日とする。

*但し、利用者の要望等により変更する場合は、市と協議をする。

3 サービスの向上について

(1) サービスの方策について

- *行き届いたおもてなしができるよう職員講習会等の実施。
- *行き届いた館内の説明のための知識の習得（地域の紹介等）
- *タイムリーな情報の提供（地域集落行事の発信）
- *ショップ商品の開発（地元特産物）・見直し（価格・品数・展示状態）
- *宴会・法要等サービスの向上による地域貢献
- *レストラン・和室における食事、くつろぎ、自己研鑽の場としての多目的な利用提供できる旨のアピール
- *歴史的な事柄、周辺説明等は、板倉観光ガイドの会と連携し、説明に当る。

(2) 市民要望の把握

- *各施設の来場者の意見・要望の収集
- *アンケートの実施
（施設内にアンケートコーナーを設置し、お客様のご意見ご要望を把握する。）
- *電話受付
- *会合等参加での情報収集
- *情報発信による市民の反応の収集
- *報・連・相の活用
- *お客様から直接お聞きした要望などを職員で共有し把握する。

(3) 市民の苦情処理について

- *報・連・相の活用
- *苦情内容を確認し、迅速且つ適切な処理をもって誠心誠意対応する。
- *関係部署への詳細報告（発生状況、相談、処置等）。
- *苦情については、職員全員に周知、再発防止を徹底させる。

(4) 自主事業について

① 自主事業の方針

- *市民の各種団体の発表の場として、地域住民の利用促進を図り、多目的ホール、和室等を利用し芸術展、講演会、講習会、音楽祭、映画鑑賞等の開催を通じて地域コミュニケーションの場を多く提供し、賑わいを創出する。
- *施設の利用促進のため、自主事業の開催を通じ、地域の活性化と観光振興の推進を図っていく。また、マスコミの有効利用・チラシの活用・地域諸団体への協力依頼等により誘客に努めていく。

② 自主事業の開催

- * 外部講師による文化講演会
- * 地域在住芸実家の作品展
- * 茶会、コンサート、演芸等の文化芸能イベント
- * 障害学習等市民参加型のイベント
- * いたくら亭そば祭り 6回/年

4 施設の修繕について

- * 記念館：平成17年のオープンであり、細かな修繕が発生しています。施設の景観を保持し設計コンセプトを損なわないように管理します。
- * いたくら亭：年代物の建物であり大事に使いたい、予防処置に重点を置きます。
- * 突発的、大規模な修繕が発生したときは、市と協議します。

II 収支計画

1 31年度の収支計画書

別紙 1のとおり

別紙 1

平成 3 1 度 一般財団法人 ぬしんの里観光公社 収支予算書

一般財団法人 ぬしんの里観光公社

単位：千円

項 目		金 額	備 考	
収 入	指定管理委託料	13,275	市からの指定管理料	
	受託事業収入	2,500	光ヶ原高原管理	
	市補助金	400	情報発信活動	
	ぬしんの里記念館収入	6,405	レストラン、宴会、売店等	
	いたくら亭収入	15,600	そば店、そば打ち体験等	
	光ヶ原レストラン収入	2,000	レストラン、	
	オリジナル商品販売収入	1,200	売店等	
	その他収入	860	財産運用益、ガイド料他雑収入	
合計		42,240		
支 出	人 件 費	正規職員	9,080	職員給与（社会保険料等含）
		臨時職員	12,520	臨時職員（福利厚生費含）
		計	21,600	
	そ の 他 経 費	原材料費（仕入）	7,500	食材、販売品購入費
		旅費	100	
		通信運搬費	330	電話料、郵送料、運賃
		消耗品費	950	事務、レストランの消耗品費
		広告宣伝費	250	チラシ印刷/等
		租税公課	1,530	消費税、印紙等
		保険料	180	損害保険、車両保険
		委託費	2,200	建物設備各種保守点検、会計
		イベント費	100	各種イベント
		使用料及び賃借料	750	使用料及び器具リース料
		自動車費	300	自動車
		電気代	3,910	
		上下水道代	660	
		ガス代	970	
		燃料代	90	暖房用灯油
		修繕費	200	小規模修繕費
		販売促進費	20	
		雑費	600	会費、振込手数料、事業税他
		計	20,640	
	合計	42,240		
収支差額		0		